伊勢 遷宮パワーで進撃だ！

県立進学校56年ぶり出場

秋季高校野球東海大会 組み合わせ決定

秋季高校野球東海大会（19、20、26、27日、愛知・岡崎市民ほか）の組み合わせ抽選会が8日、名古屋市内で行われ、対戦相手が別表のように決まった。愛知、岐阜、三重、静岡4県の県大会上位3校の計12校が出場。来春センバツの東海地区の出場枠（一般選考）は2校で、今大会で決勝に進出すれば、春の甲子園出場はほぼ確実となる。秋季東海大会に56年ぶり出場の伊勢は三重県内で屈指の県立進学校。地元の伊勢神宮は20年に1度の式年遷宮で盛り上がっているが、その〝巡り合わせ〟に勢いを得て同大会に臨む。初戦は関商工（岐阜）と対戦する。

（阿知波浩二）

㊤秋季高校野球東海大会に56年ぶりに出場する伊勢の1、2年部員たち ㊦滝投手の投球練習を見守る前川監督＝三重県伊勢市の同校で（阿知波浩二撮影）

初戦は関商工

強豪校も恐れるに足りず…。半世紀ぶりに秋季東海大会の舞台を踏む伊勢は、11年夏の甲子園代表である関商工に胸を借りる覚悟でぶつかる。

「自分たちらしくやる。個々をみたらうまい選手はいないけど、足りないところをチームで補う野球を」と奥野貴主将（2年）。今夏の三重大会は、いなべ総合に0―12と力負けし、初戦で姿を消したが、新チームとなった秋はアッと驚く快進撃。決勝まで一気に勝ち進んだ。最後は三重高に1―5で敗れて準優勝に終わったが、今夏の甲子園代表の相手を苦しめた。

県大会2回戦から滝が代役エースに

その中心となったのが、背番号5をつけて力投した滝誠投手（2年）だ。準決勝の津田学園戦は8―7で制した延長11回の激闘で、193球も投げて、4番打者としては決勝打も放った。背番号1の上坂が不調で、県大会2回戦から代役エースを務めた横手投げ右腕だ。

「秋の東海大会は56年ぶり2度目と聞いた時はびっくり。そんな昔に出ていたなんて、知らなかった」と滝。1956年に創立した学校だが、その2年目で初出場を果たしていた。

式年遷宮に沸く伊勢神宮は今年の参拝客数が1300万人になる見込み。「この巡り合わせを大切にしないと」と奥野主将。祝い事の勢いに乗ろうというのだ。

〝自力〟で甲子園出場目指す

21世紀枠候補有力も

三重県の南勢地区でトップクラスの進学実績で、生徒の半数が国公立大に進学する。この春卒業した野球部OBは名大、大阪大、神戸大に現役合格。筑波大、東京学芸大、三重大の硬式野球部で現役でプレーする先輩もいる。学校は1限45分間の7限授業で、木曜日だけは午後4時15分まで続く8限授業。野球部の練習時間は平日2時間ほどしかとれない。そこで、ふだんの練習から「集中力を養う」ことがテーマとなる。

「練習でも試合でも、生徒が自分たちで『勝つにはどうしたらいいのか』を考えさせてやってる」と前川光司監督(42)。大人から〝やらされる〟型の高校野球とは正反対である。

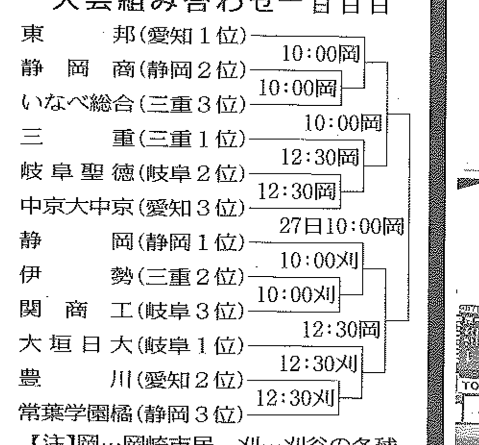
県内屈指の進学校は文武両道を看板にすれば、「21世紀枠」の有力候補にもなりそうだ。校内の友人からは「（21世紀枠候補入りは）濃いいんじゃないの？」と早くも声をかけられたというが、伊勢ナインは一般選考での甲子園出場にこだわる。「21世紀枠は〝推薦入学〟みたいなもの。ボクらは〝一般入試〟でいきたい」と奥野主将。春の甲子園初出場を目指し、自力で勝負する。

◎伊勢のベンチ入り登録20選手◆

位置	選手名	学年	身長	体重	投打	出身中
(投)	滝　誠	②	168	67	右左	南勢
(捕)	村岡　樹	②	168	64	右右	長岡
(一)	清水聡之朗	②	169	64	右右	伊勢宮川
(二)	奥野　貴	❷	169	60	右左	豊浜
(三)	山本　道信	①	172	62	右右	倉田山
(遊)	中村　海竜	②	177	64	右右	松阪中部
(左)	森下　航希	②	182	78	右左	明和
(中)	上田　隼也	②	175	65	右左	厚生
(右)	西川　陸	②	162	61	右右	五十鈴
控	上坂　宣嗣	②	176	70	右右	倉田山
〃	馬瀬　雄樹	②	174	63	右左	小俣
〃	小川　雄大	②	170	64	右右	厚生
〃	岩本　拓也	②	173	64	右右	加茂
〃	北岡　優樹	②	163	62	右右	明和
〃	森島　大地	②	167	65	右右	北浜
〃	岡部　猛士	②	169	72	右右	小俣
〃	中村　公輔	②	175	68	右右	加茂
〃	馬瀬　智樹	①	170	62	右右	小俣
〃	大杉　裕亮	②	172	65	右左	五十鈴
〃	奥田　恒輝	①	179	64	左左	小俣

【注】学年の白抜きは主将

◎秋季高校野球東海大会組み合わせ◎　19日　20日　26日



東邦（愛知1位）
静岡商（静岡2位）
いなべ総合（三重3位）
三重（三重1位）
岐阜聖徳（岐阜2位）
中京大中京（愛知3位）
静岡（静岡1位）
伊勢（三重2位）
関商工（岐阜3位）
大垣日大（岐阜1位）
豊川（愛知2位）
常葉学園橘（静岡3位）

【注】岡…岡崎市民、刈…刈谷の各球場。県名の右は県大会順位

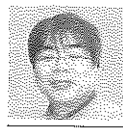
大垣日大、三重高が優勝争いの軸

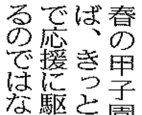
【展望】 ともに夏春連続の甲子園出場を目指す大垣日大、三重高が優勝争いの軸となる。大垣日大は今夏の甲子園大会に出場した選手がエース・高田、4番・滝野ら7人もいる。先月上旬に胃潰瘍に襲われた高田は体調が戻り、県大会決勝では4安打完封勝利。三重高も長野、宇都宮ら中軸打者が夏の甲子園の舞台を踏んで、たくましくなった。左腕・今井も好調。追うのは快腕・田中がいる豊川、強打線が看板の東邦の愛知勢だろう。

各県の3位校はどこも強力。快速球が光る石垣がいるいなべ総合、エース兼3番・木村が引っ張る常葉学園橘、打ち勝つ野球の中京大中京、試合巧者の関商工は上位を狙う力がある。

松本NHK会長、楠田枝里子ら輩出

伊勢高OB多士済々





⚾…伊勢高の卒業生は多士済々。松本正之NHK会長（元JR東海副会長）から小津博司検事総長、西村泰彦警視総監、濱口道成名大学長、さらに芸能界では楠田枝里子（タレント）＝写真㊤＝、小倉久寛（俳優）＝写真㊦＝がいる。「各界で活躍されている先輩はスゴい方ばかり」と奥野主将。春の甲子園に出場すれば、きっとアルプス席まで応援に駆けつけてくれるのではないか。

代打舟川 涙の逆転3ラン

立大が明大破り勝ち点2

東京六大学野球 第4週第3日

（8日・神宮）

神宮で初アーチ

立大が8―3で明大を破って勝ち点を2とした。1点を追う6回に代打の舟川敬文内野手（4年・足利）が逆転3ラン。負ければ優勝争いから後退するところを、ムードメーカーがひと振りで救った。先発の沢田圭佑投手（1年・大阪桐蔭）は5⅔3失点で4勝目。春秋連覇を狙う明大は今季3カード目で初めて勝ち点を落とした。

▽3回戦（立大2勝1敗）

立大	1	0	0	0	1	3	1	2	0	8
明大	0	0	0	2	1	0	0	0	0	3

（本塁打）菅野、坂本（以上明）、舟川（立）

代打逆転3ランの立大・舟川敬文内野手㊧を涙目でたたえて迎えた大塚淳人監督＝神宮球場で（小原栄二撮影）

監督も劇弾に涙

ベンチ最前列で大きな声を出し続けた控え4年生が試合を決めた。立大の舟川が6回2死一、二塁で右翼へ神宮初アーチとなる代打逆転3ラン。ベースを回りながら涙ぐんだ舟川は、一礼してからホームベースをしっかり踏んだ。「4年間のすべてがよみがえった。もう神宮で野球をやることはない。神宮球場にもありがとうございました、と言いました」

栃木の県立進学校から指定校推薦で入学。野球エリートではなく、レギュラーも遠かったが、だれよりも練習し、だれよりも元気だった。そこを見いだして2年春からベンチに入れた大塚淳人監督も劇弾に目を赤くした。

「涙が出ます…。一番練習した。元気があってムードメーカー。みんなが認めている。1年以上、神宮でヒットが出ていなかったが、ここで打つんですね」

製薬会社への就職が内定している舟川は「ようやくチームに恩返しができました」と笑った。今季2度目の打席で3季ぶり6本目のヒット。2011年秋、明大の野村（現広島）からのタイムリー以来の打点で、チームを優勝争いに踏みとどまらせた。1999年秋以来、今世紀初となる優勝へ上げ潮ムードで次は早大戦。足利から応援に来ていた母・晶子さん(51)に記念ボールをプレゼントした孝行息子が、さらにチームを盛り上げる。

（小原栄二）

◆法大の西浦、木下がプロ志望届 全日本大学野球連盟は8日、法大の西浦直亨外野手（4年・天理）、木下拓哉捕手（4年・高知）らが新たにプロ志望届を提出したと公表した。法大主将の河合完治内野手（4年・中京大中京）は提出していない。これで提出者は計50人。日本高野連に提出している69人を合わせて計119人となった。

【立大】				打	安	点
(左)	佐藤拓	①	（浦和学院）	4	3	0
(二)	小尾	③	（大垣日大）	3	1	0
打	細木堂	④	（立教池袋）	1	0	0
二	安田	③	（桐蔭学園）	0	0	0
(遊)	大城	②	（興南）	5	3	2
(中)	岡部	③	（帝京）	4	1	2
(三)	我如古	③	（興南）	5	2	1
(一)	寺田	②	（神戸国際大付）	3	1	0
走一	大村	④	（横浜）	2	1	0
(右)	浅田	③	（報徳学園）	0	0	0
右	二場	④	（田川）	3	1	0
右	平原	④	（帝京）	2	0	0
(捕)	平本	④	（報徳学園）	5	2	0
(投)	沢田圭	①	（大阪桐蔭）	2	0	0
打	舟川	④	（足利）	1	1	3
投	斎藤	②	（成田）	0	0	0

振球犠併残　72219　40168

【明大】				打	安	点
(遊)	福田	③	（広陵）	4	1	0
(二)	大塚	②	（花咲徳栄）	3	0	0
(三)	糸原	③	（開星）	4	1	0
(一)	岡大	④	（倉敷商）	4	1	0
(右)中	高山	②	（日大三）	4	0	0

東京に天皇、皇后杯

国体閉幕 次回は長崎

第68回国民体育大会は8日、東京都調布市の味の素スタジアムで秋篠宮ご夫妻をお迎えして閉会式が行われ、閉幕した。3年続けて「東日本大震災復興支援」を冠した大会は、東京がともに11年